

新潟大学佐渡自然共生科学センター

2022（令和4）年度年次報告書

目次

1 佐渡自然共生科学センターについて	1
2 活動概要	1
2-1 各領域の活動概要.....	1
2-2 領域が連携して取り組む活動のハイライト.....	4
3 研究業績	6
3-1 研究論文・著書等.....	6
3-2 研究費.....	18
4 教育活動	20
4-1 学内の教育.....	20
4-2 佐渡3施設で実施した他大学等の教育.....	21
4-3 3施設で実施したその他の教育.....	22
4-4 施設利用状況.....	22
5 地域連携と社会活動	23
5-1 佐渡市との連携による事業.....	23
5-2 その他の地域連携・社会活動.....	23
5-3 シンポジウム・セミナー等の開催.....	27
6 資料	27
6-1 報道関係.....	27
6-2 構成員.....	28

1 佐渡自然共生科学センターについて

新潟大学佐渡自然共生科学センターは、佐渡島にあった農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション（演習林）、朱鷺・自然再生学研究センター、理学部附属臨海実験所の3施設が2019年4月に統合して、佐渡島の森里海の自然共生科学を展開する総合的な教育・研究センターとして発足した。本センターは森林・里山・海洋の各領域とコミュニティデザイン室（以下、CD室と略す）からなり、佐渡島の森里海の生物多様性・生態系の仕組みを解明すると同時に、社会・歴史などとの複合領域の自然共生科学を追求し、佐渡島の豊かな自然環境を活かした持続可能な自然共生社会を提案し、教育・研究・地域連携・国際交流を推進するとともに、地域と創り上げるシチズン・サイエンスの実現を目指している。

2 活動概要

2022年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、さまざまな教育・研究活動が制約されたが、COVID-19流行以前には及ばないもののwithコロナ対応により4領域・室の連携で教育・研究・地域連携活動を拡大することができた。文科省の教育関係共同利用拠点事業は、2022年度から演習林は第III期事業に更新され、臨海実験所も2023年度から第III期事業として認定された。教育関係共同利用拠点に認定されている森林領域、海洋領域では、対面による学生実習にくわえてオンラインによる教育活動を実施し、里山領域を含めた3領域が協力した、学内・学外対象の森里海実習も実施した。また、CD室は、佐渡市・(株)NTTデータと共に自立可能で持続可能な島づくりをめざした循環型社会の実現及び地域社会の発展のために「佐渡島自然共生ラボ」を立ち上げた。

CD室もふくめた4領域・室は、佐渡市民を対象とした講座、ワークショップ等を多数開催した。2023年3月には、本センターで取り組んでいるシチズンサイエンスの展開と佐渡市自然史博物館構想の支援を想定し、「デジタル時代の自然共生」と題した市民と大学関係者などを対象とした対面・オンラインのハイブリッド型シンポジウムをトキ交流会館で開催した。さらに、パンデミック以降、国際交流事業はオンラインによる交流に限られていたが、2022年度には1件だけであるが対面で実施できたことは特筆に値する。

2-1 各領域の活動概要

森林領域／演習林

森林領域は、大佐渡北部稜線上に大学が所有する約500haの天然林・人工林を中心として、島内・島外の森林において植生学・森林生態学・種生態学・動植物相互作用学などの研究を展開すると共に、農学部・理学部の実習を担当し、教育関係共同利用拠点として他大学の実習も多数実施している。

4月中旬には本学に所属する内部委員及び外部有識者で構成される共同利用運営委員会の会議をオンラインで実施した。

5月～10月（無雪期間）に、公募型・受託型・フィールド利用型を主とした他大学共同利用実習、農学部及び自然科学研究科の学内実習、他学部による学内共同利用実習を行った。他大学共同利用実習14件、学内実習6件、学内共同利用実習3件、一般向け公開実習1件が実施され、実施件数はコロナ禍以前の水準までほぼ回復した。また、延べ利用者数は1335人・日、新潟大の農学部・理学部を除く利用機関数は23であった。JST さくらサイエンスプログラムによる中国科学院西双版纳熱帯植物園の来訪が再開されたこともトピックである。

感染症対策として、大学全体のガイドラインに加え、演習林独自のガイドラインを策定して対応した。宿泊は定員の半分（18名）の使用とした。さらに来島1週間前からの移動自粛のお願いなどを徹底した。感染地域への移動履歴のある学生については、ワクチンの接種状況の確認、来島前の抗原検査、PCR検査の実施を条件として受け入れる努力を行った。

対面型実習の代替措置として動画コンテンツの本数を20本に増強し、YouTubeで限定公開している。この動画コンテンツは、コロナウイルス感染による対面実習中止の場合に加えて、心身の不調により対面型実習に参加できない学生に対して、教育的配慮によるオンライン実習の素材としても使用した。佐渡ゼミ（一般公開型セミナー）は対面形式とオンライン形式を併用し、計5回実施した。

里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設

里山領域では、新穂湯上にある朱鷺・自然再生学研究施設を拠点として、佐渡のシンボルであるトキの再導入生物学の確立や地域の生物多様性の実態の解明、生態系の復元手法の開発、自然共生に向けた社会システムの構築などにかかわる研究を進めている。自然科学と人文・社会科学の融合を図り、学際的環境科学を推進するとともに、地域住民や行政機関との連携による調査や教育活動にも取り組んでいる。

2022年度には、地域や行政機関との連携を図りながら実施している文理融合の自然共生プロジェクトとして、大規模ほ場整備が予定されている地区内でサドガエルの保全事業を進めてきた。本事業は、自然科学的視点からサドガエルの生態や生息環境を明らかにするとともに、次世代も参加した保全の取り組みを展開する自然科学と社会科学の融合プロジェクトである。実際にはほ場整備が始まる次年度以降に向けて、調査やステークホルダーとの協議を進めた。放棄棚田をビオトープとして自然再生したキセン城圃場においてアメリカザリガニが水生昆虫に与える影響に関する研究を実施した。再導入トキ個体群成長が鈍ってきているが、コロニー繁殖個体数が閾値を超えるとコロニーの崩壊が生じること、新規放鳥個体の生存率が低下しているなどの密度効果のメカニズムが明らかになってきた。また、オオセッカや阿蘇のコジュリンなどの国内希少動植物種に関する保全・研究を推進した。

海洋領域／臨海実験所

臨海実験所は、フィールドワークを通して海洋生物の多様性とその成り立ちについての実践的高等教育を行うというミッションを基に、佐渡島に残されている豊かな自然環境と生物相を利用して、海洋生物の多様性と生理学・生態学・発生学に関する高度な教育・研究を行っている。生物の多様性と普遍性の理解は、生物学の教育・研究の基礎となるものであり、2022（令和4）年度は、新潟大学の理学部理学科（2年生）、同生物学・地質科学・自然環境科学の各プログラム（2, 3年生）、理学部・農学部のフィールド科学人材育成プログラム（2, 3年生）の学生、全学部、さらに大学院自然科学研究科の学生を対象にした臨海実習や講義を通して、基礎生物学およびフィールド科学の教育・研究に貢献した。

また、佐渡自然共生科学センターの他の領域／施設（森林領域／演習林、里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設）と協同して、森・里・海をつなぐ生態系についての高度な知識と見識を持つ人材の育成を行った。2017（平成30）年度から本年度まで文部科学省の教育関係共同利用拠点「佐渡島生態系における海洋生物多様性・適応生理生態学教育共同利用拠点」として認定され活動を行ってきた。2022年度も2021年度までに引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、学内の実習、共同利用活動に影響があった。いずれの実習についても、新型コロナウイルス感染症への対策ガイドラインを策定した上で、人数を制限して実施した。共同利用については、フィールド利用型実習8件、公開臨海実習3件、学内実習8件と2019年度までに近い件数を実施できた。また、昨年度に引き続き、オンデマンド実習教材を活用しリアルタイム型の講義、観察と合わせることで、国際臨海実習と新潟大学公開講座高校生・一般対象公開臨海実習を含む3件の実習をオンライン型、あるいはハイブリッド型で実施した。このうち、国際臨海実習“An Invitation to Marine Biology”は、JST さくらサイエンスプログラムの支援を受けて、バンガラデシュ農業大学（バンガラデシュ）、チャットグラム獣医動物科学大学（バンガラデシュ）、ハノイ国立教育大学（ベトナム）、香港大学（中国）をはじめとする6つの海外研究教育機関からの参加者に加えて、国内3大学の計40名が参加した。

昨年度に引き続きポスト・コロナを見据えてオンデマンド実習教材の充実をはかった。国際実習の教育効果や海外からの利用者の利便性をあげる取り組みとして、日本語に加えて英語による動画も作成し、日英併せて実習内容の紹介17編と海洋生物の紹介53編、施設紹介2編の動画教材を公開した。また、臨海実験所ホームページにて公開中の佐渡の海洋生物図鑑の掲載種数を271種まで拡充した。今後も教材の充実をはかる予定である。

地域・社会連携については、小中学生や一般の佐渡市民向けの実習の実施、講演会やイベントへの参加などを行った。また、海洋教育に関する社会啓発活動として、世界中で海洋マイクロプラスチック調査を行っているTara Ocean財団と連携し、佐渡島海岸のビーチクリーニングと海洋マイクロプラスチックの採集体験を実施した。

施設・設備については、2000年より利用してきた実習調査船「IBIS2000」が引退し、2022年10月に新たな実習調査船「アイビスII」が進水した。乗船定員の増加に加えて、幅の広い後部

A フレームや最新の GPS など、充実した設備で教育・研究が実施できる体制となった。また、新実習調査船を活用した海洋環境に関する教育・研究を推進するため、金沢大学環日本海域環境研究センターと連携協定を締結した。

当臨海実験所は、2023（令和 5）年度から 2027（令和 9）年度まで文部科学省「佐渡島の森里海生態系における多様な生物相を活用した国際海洋生物学教育共同利用拠点」として再々認定を受けた。ポスト・コロナを見据えて、来年度以降もいっそう開かれた施設として、教育・研究に取り組む。

コミュニティデザイン室

佐渡島を舞台に、新潟大学ならびに外部の研究者や企業との連携を図りながら、自然共生という価値の追求と持続可能な地域の発展につながる実装型プロジェクトを推進するため、2020 年 1 月に開設された。

2022 年度は、株式会社 NTT データとの共同研究として、GX/DX をテーマにしたリビングラボのデザインに取り組み、11 月に「佐渡島自然共生ラボ」を佐渡市との連携で開設した。産官学民の多様なステークホルダーが参加するワークショップを企画し、第一次産業の課題や自然資源のポテンシャルを整理するとともに、課題解決に向けた取り組みを展開するためのプラットフォームを構築した。

朱鷺の島地域再生人材創出事業では、佐渡市との連携講座である「ジオパーク市民講座」（参加者延べ 22 名）、佐渡市理科教育センターとの連携講座である「学校教職員対象研修」（参加者延べ 20 名）、市民との共同企画による「里山体験ガイドフォローアップ研修」（参加者延べ 29 名）を実施した。

2020 年度開始した「里山未来ユースワークショップ」は、全 3 回のデザイン思考ワークショップに加えて、佐渡島内で農村振興に携わる地域住民にインタビューを行う機会を創出し、すでに行われている地域づくり活動との連携を図った。

2-2 領域が連携して取り組む活動のハイライト

森里海の研究

1) 里と河川をつなぐ動物の生態研究

佐渡自然共生科学センターで連携して実施してきた佐渡島の河川を中心とした生態系間の相互作用に関する共同研究を発展させて、陸域と水域をつなぐ動物を対象とした研究を継続して行っている。2022 年度は、佐渡島と比較対象となる新潟県内の河川とその周辺の里地にて、陸域を生息の場とするシマヘビについて研究を行った。シマヘビは他地域では陸域の動物を主要な餌料とするが、佐渡島では河川でハゼ科魚類を餌料とする特異な生態を持ち、河川と陸域をつなぐ役割を持つことを明らかにした。（阿部晴恵、飯田碧）

2) 加茂湖に生息する生物の生態研究

県内最大の汽水湖である加茂湖は漁業活動や観光資源として地域住民に親しまれている。佐渡自然共生科学センターでは、スタッフが連携して加茂湖に生息する生物の生態研究を継続して行っている。2022年度は、加茂湖に広く生息する底生性甲殻類であるニホンスナモグリとテッポウエビ、そしてそれらの巣穴近傍に生息している生物について研究を行った。ニホンスナモグリの生息密度が高い砂地では二枚貝のアサリが激減していることが判明した。加茂湖ではここ数年、アサリの漁獲量が激減したもののその原因は不明であったが、ニホンスナモグリの生息地拡大が何らかの影響を与えているのかもしれない（豊田賢治，豊田光世）。さらに、加茂湖周辺に数多く棲息しているアカテガニは沿岸域に巣穴を掘り、日中は身を潜めている。アカテガニの巣穴は特に樹木の周辺に多いことから、加茂湖の樹崎神社の境内でみられる全ての樹木の同定と、樹木周辺で見られる巣穴数を調査した。最も巣穴密度が高い樹木はヒサカキであり、境内で最も多かったクロマツ周辺の巣穴数の4倍以上であった。これは、クロマツに比べ低木で枝葉が密生するヒサカキの方が外敵から身を隠しやすいためと考えられる。アカテガニは生活史の中で里山と海、そして河川を必要とするため、沿岸域の再開発等により全国でその数を減らしている。本研究がアカテガニの生息地保全を考える一助となれば幸いである（豊田賢治，阿部晴恵，豊田光世，飯田碧）。

佐渡自然共生科学センターシンポジウム 2023 の開催

2023年3月に「新潟大学佐渡自然共生科学センターシンポジウム 2023 デジタル時代の自然共生科学」を開催した。近年のデジタル技術の進歩はめざましく、自然共生科学の研究や教育にも様々な形で取り入れられている。また、自然共生科学に親和性の高い手法である市民科学（シチズン・サイエンス）にもデジタル技術が有効活用されている。市民参加型の環境 DNA 研究や、メタバース植物園、佐渡演習林の森林を GIS でデータ化する取り組みなど、デジタル技術を取り入れた事例を紹介いただき、市民や大学関係者とその在り方について議論した。対面とオンラインを併用し、70名以上の参加者があった。

3 研究業績

3-1 研究論文・著書等

論文（英文・和文の順，筆頭著者アルファベット順）

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
1	Aye myat myat paing, S. Chen, K. Araki, T. Aihara, R. Sarmah, M. Hirota, Y. Tsumura, N. Tomaru, <u>K. Homma</u> , M. Kadomatsu, T. Yoshida, H. Kobayashi, A. Iio, K. Osumi, D. Nagamatsu, M. Takagi, H. Taneda, N. Kimura, S. Fukuoka, Y. Hisamoto, S. Goto	Site characteristics of <i>Betula ermanii</i> range-wide provenance trials	Miscellaneous Information of The University of Tokyo Forests 64	1–12	2022
2	J. Chen, Y. Katada, T. Yamaguchi, Y-J. Guh, T. Nakayama, K. Okimura, M. Maruyama, Y. Furukawa, Y. Nakane, N. Yamamoto, Y. Sato, <u>H. Ando</u> , A. Sugimura, K. Tabata, A. Sato, T. Yoshimura	Prostaglandin E2 is the synchronizer of lunar-regulated 1 beach-spawning in grass puffers	Current Biology 32	1–9	2022
3	N. I. Ishii, S.K. Hirota, Y. Tsunamoto, A. Matsuo, <u>H. Abe</u> , Y. Suyama	Extremely low level of genetic diversity in <i>Gentiana yakushimensis</i> , an endangered species in Yakushima Island, Japan	Plant Species Biology 37(5)	315–326	2022
4	H. Katayama, <u>K. Toyota</u> , H. Tanaka, T. Ohira	Chemical synthesis and functional evaluation of the crayfish insulin-like androgenic gland factor	Bioorganic Chemistry 122	105738	2022
5	R. Masuko, S. Sukegawa, T. Ohta, T. Yamada, M. Yamazaki, H. Inoue, T. Fujii, S. Okamoto, <u>H. Iwaisaki</u>	Identification of PPARGC1A-regulated oxidative phosphorylation pathway showing heat stress-responsive activation associated with low heat stress tolerance for growth rate in skeletal muscle tissue of finishing pig	The Journal of Animal Genetics 50(2)	49–54	2022

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
6	M. Nakamura, C.Terada, K.Ito, K.Matsui, S.Niwa, M.Ishihara, T.Kenta, T.Yoshikawa, T.Kadoya, T.Hiura, H.Muraoka, K.Ishida, N.Agetsuma, R.Nakamura, H.Sakio, M.Takagi, A.S. Mori, M.K. Kimura, H.Kurokawa, T.Enoki, T.Seino, A.Takashima, H.Kobayashi, K.Matsumoto, K.Takahashi, R.Tateno, T.Yoshida, T.Nakaji, M.Maki, K.Kobayashi, K.Fukuzawa, K.Hoshizaki, K.Ohta, K.Kobayashi, M.Hasegawa, S.N. Suzuki, M.Sakimoto, Y.Kitagawa, A.Sakai, H.Kondo, T.Ichie, K.Kageyama, A.Hieno, S.Kato, T.Otani, Y.Utsumi, T.Kume, <u>K.Homma</u> , K.Kishimoto, K.Masaka, K.Watanabe, M.Toda, D.Nagamatsu, Y.Miyazaki, T.Yamashita, N.Tokuchi	Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan	Ecological Research 37(3)	432-445	2022
7	S. Ogawa, H. Matsuda, Y. Taniguchi, T. Watanabe, Y. Sugimoto, <u>H.</u> <u>Iwaisaki</u>	Estimation of the autosomal contribution to total additive genetic variability of carcass traits in Japanese Black cattle	Animal Science Journal 93(1)	13710	2022

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
8	S. Ogawa, H. Matsuda, Y. Taniguchi, T. Watanabe, Y. Sugimoto, <u>H. Iwaisaki</u>	Fitting genomic prediction models with different marker effects among prefectures to carcass traits in Japanese Black cattle	Genes 14(1)	24	2023
9	T. Ohira, T. Terasawa, <u>K. Toyota</u> , H. Kamei, S. Ogiso, N. Suzuki, H. Katayama	Purification and characterization of red pigment concentrating hormone form the Alaska pink shrimp <i>Pandalus eous</i>	Aquatic Animals AA2022	8	2022
10	Y. Okahisa, <u>H. Nagata</u>	Evaluation of ongoing Crested Ibis (<i>Nipponia nippon</i>) reintroduction using an integrated population model and Bayesian population viability analysis	Ibis 164 (4)	1104–1122	2022
11	Y. Okahisa Y. Kaneko <u>H. Nagata</u> K. Ozaki	Effects of rearing methods on the reproduction of reintroduced Crested Ibis <i>Nipponia nippon</i> on Sado Island, Japan	Ornithological Science 21(2)	145–154	2022
12	<u>H. Sakio</u> , A. Kon, M. Kubo, Y. Nakano	Long-term fluctuations and mechanisms of seed production of riparian tree canopy species	Ecological Research 38(3)	370–385	2023
13	N.M. Tchebakova, V.I. Zyryanov, O.A. Zyryanova, E.I. Parfenova, <u>T. Kajimoto</u> , Y. Matsuura	A comparative study of climatology, energy and mass exchange in two forests on contrasting habitats in central Siberia: permafrost <i>Larix gmelinii</i> vs. permafrost-free <i>Pinus sylvestris</i>	Forests 14	346	2023
14	<u>K. Toyota</u> , M. Yasugi, N. Tatarazako, T. Iguchi, E. Watanabe	Laterally biased diffusion of males of the water flea <i>Daphnia magna</i>	Journal of Experimental Zoology 337	626–638	2022
15	S. Udagawa, A. Nagai, M. Kikuchi, <u>A. Omori</u> , A. Tajika, M. Saito, T. Miura, N. Irie, Y. Kamei, M. Kondo	The pentameric hydrocoel lobes organize adult pentamerous structures in a sea cucumber, <i>Apostichopus japonicus</i>	Developmental Biology 492	71–78	2022

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
16	<u>D. Watabiki</u>	Description of the immature stages of <i>Aedia kumamotonis</i> (Matsumura) with notes on the morphological differences from the sweet potato leaf worm, <i>Aedia leucomelas</i> (Linnaeus) (Lepidoptera, Noctuidae, Aediinae)	Lepidoptera Science 73	147–152	2022
17	Y. Yamana, F. A. Solis-Marin, M. Yamamoto, Y. Ota, H. Kohtsuka, <u>A. Omori</u> , K. Iwasaki, D. H. E. Setiamarga	Partial redescriptions of three holothurians with “hook papillae” (Apodida: Chiridotidae): <i>Taeniogyrus japonicus</i> (Marenzeller, 1882), <i>T. dendyi</i> (Mortensen, 1925), <i>Scoliorhapis theelii</i> (Heding, 1928)	Zootaxa 5138	351–387	2022
18	Md. Zahangir, M. Rahman, <u>H. Ando</u>	Anomalous temperature interdicts the reproductive activity in fish: neuroendocrine mechanisms of reproductive function in response to water temperature	Frontiers in Physiology 13	902257	2022
19	Md. Zahangir, M. Shahjahan, <u>H. Ando</u>	Kisspeptin exhibits stimulatory effects on expression of the genes for kisspeptin receptor, GnRH1 and GTH subunits in a gonadal stage-dependent manner in the grass puffer, a semilunar-synchronized spawner	Frontiers in Endocrinology 13	917258	2022
20	A. Zoda, S. Ogawa, H. Matsuda, Y. Taniguchi, T. Watanabe, Y. Sugimoto, <u>H. Iwasaki</u>	Inferring genetic characteristics of Japanese Black cattle populations using genome-wide single nucleotide polymorphism markers	The Journal of Animal Genetics 50(1)	3–9	2022
21	A. Zoda, S. Ogawa, H. Matsuda, Y. Taniguchi, T. Watanabe, Y. Sugimoto, <u>H. Iwasaki</u>	Genomic prediction for carcass traits in Japanese Black cattle considering population structure	The Journal of Animal Genetics 50(2)	31–38	2022
22	酒井 敦, 野口麻穂子, 齋藤智之, 櫃間 岳, 正木隆, <u>梶本卓也</u>	秋田地方における 120 年生カラマツ人工林の林分構造と成長過程.	日本森林学会誌 104	374–379	2022
23	嶋本習介, <u>綿引大祐</u> , 仲川純子	ツヤアカヒメヒラタカメムシの新潟県佐渡島からの記録	Rostria (67)	159–160	2022

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
24	綿引大祐, 小島弘昭	ヒラズネヒゲボソゾウムシの新潟県佐渡島からの記録とその分布に関する考察	さやばねニューシリーズ (47)	14-16	2022
25	綿引大祐, 吉松慎一, 中谷至伸	ツマジロクサヨトウの佐渡島からの初記録	誘蛾燈 (248)	81-82	2022
26	綿引大祐	オオノコバヨトウの新潟県(佐渡島)からの初記録および幼虫の生態・形態に関する考察	誘蛾燈 (249)	152-156	2022
27	綿引大祐	佐渡島からのフユシヤク類の記録	誘蛾燈 (249)	159-160	2022
28	綿引大祐, 田中絵里, 吉松慎一	日本産マツカレハ属(チョウ目カレハガ科)4種の概説	森林防疫 72	22-32	2023
29	吉松慎一, 綿引大祐, 中谷至伸	ナシマダラメイガの学名に関する考察	蝶と蛾 73	153-156	2022
30	吉松慎一, 綿引大祐, 田端純	ツマジロクサヨトウ用フェロモントラップで誘引されたチョウ目昆虫	植物防疫 76	41-45	2022

書籍 (英文・和文の順, 筆頭著者アルファベット順)

	著者名	タイトル	書籍名(編者)	ページ	出版社	年
1	N. Kikuchi, M. Toyoda	Trials of Tools to Evaluate Adaptive Processes in Environmental Activities	<i>Adaptive Participatory Environmental Governance in Japan</i> , (eds. T. Miyauchi, M. Fukunaga)	235-256	Springer	2022
2	K. Toyota, Y. Sakae, T. Iguchi	Larval development of non-insect Arthropods: Metamorphosis and sexual differentiation	Arthropods-New Advances and Perspective (ed. V.D.C. Shields)		IntechOpen	2022
3	K. Toyota	Uncovering the role of endocrine factors in decapod physiology	Impact	23-25	Science Impact Ltd.	2022
4	阿部晴恵	ヤブツバキとユキツバキの交雑帯における形質と遺伝的構造の比較	奥びわ湖山門水源の森, 山門水源の森を次の世に引き継ぐ会	74-76	ペリかん社	2022
5	相田満久		よく分かる佐渡ジオパーク 自然と人の暮らし(編集委員: 渡邊剛忠・池田雄彦・崎尾均・中川清太郎・藤林紀枝・松岡篤)	1-172	文一総合出版	2022
6	祝前博明	家畜の遺伝と育種	畜産学(入江正和編)	54-99	養賢堂	2022
7	豊田光世	子どもの哲学(p4c)を生かして道徳の授業をデザインする	道徳は本当に教えられるのか(田沼茂紀編)	103-123	東洋館出版社	2023

報告書等

	著者名	タイトル	報告書名	ページ	年
1	松浦隆介, 崎尾均, 山本聡子, 川西基博, 中野陽介	沼ノ平地域の植生とその多様性	只見の自然 (只見町ブナセンター紀要) 沼ノ平総合学術調査報告号 10	37-62	2022
2	崎尾均, 山本聡子, 川西基博, 中野陽介, 首藤光太郎, 丸尾文乃	沼ノ平地域の植物相	只見の自然 (只見町ブナセンター紀要) 沼ノ平総合学術調査報告号 10	63-79	2022
3	崎尾均	沼ノ平総合学術調査の総括—自然攪乱と生物多様性—	只見の自然 (只見町ブナセンター紀要) 沼ノ平総合学術調査報告号 10	183-190	2022
4	崎尾均	ユビソヤナギの特徴と只見川水系における保全策	福島県只見川水系の希少樹種ユビソヤナギ 2011年7月新潟・福島豪雨前後における只見町の自生地の変化 (編: 只見の自然に学ぶ会)	24-26	2022
5	豊田光世	シチズン・サイエンスの拠点として市民とともに自然との共生を目指す	東洋経済 ACADEMIC: SDGs に取り組む大学特集 Vol.4	46-47	2022

国際学会・会議での発表 (発表年月順)

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
1	M. Toyoda, R. Tsuji, B. Johnson	Biocultural conservation and education in Satoyama landscapes on Sado Island, Japan, adapting philosophy for children (P4C)	American Society for Environmental History 2022 Conference.		2022/03
2	M. Toyoda	Environmental challenges and collaborative synergies: the case of Sado Island	Third Global Conference on Strengthening Synergies Between the Paris Agreement and the 2030 Agenda for Sustainable Development.		2022/07
3	J. Chen, Y. Katada, K. Okimura, T. Yamaguchi, Y. J. Guh, T. Nakayama, M. Maruyama, Y. Furukawa, Y. Nakane, N. Yamamoto, Y. Sato, H. Ando, A. Sugimura, K. Tabata, A. Sato, T. Yoshimura	Prostaglandin E2 synchronizes lunar-regulated beach-spawning in grass puffers	Sapporo Symposium on Biological Rhythm 2022	Sapporo, Japan	2022/08

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
4	B. Lukey, <u>M. Toyoda</u> , R. Tsuji, B. Johnson	Expanding the horizons of biocultural awareness: Examples of communities of philosophical inquiry empowering of ecological agency	The 20 th International Council of Philosophical Inquiry with Children (ICPIC) Tokyo	Tokyo	2022/08
5	<u>H. Nagata</u> , Y. Okahisa	Catastrophic failure of established small breeding colonies of the reintroduced Japanese Crested Ibis, <i>Nipponia nippon</i> , on Sado Island, Japan	International Ornithological Congress 2022	Durban (online)	2022/08
6	<u>M. Toyoda</u> , N. Tanaka, T. Tabata	Unfolding global perspectives in Japanese classrooms: the translation project of Routledge P4C Handbook	The 20 th International Council of Philosophical Inquiry with Children (ICPIC)	Tokyo	2022/08
7	R. Kawamura, M. Mekuchi, <u>K. Toyota</u> , S. Ogiso, Y. Watabe, A. Nagami, Y. Maruyama, A. Hattori, S. Yanai, J. Hirayama, H. Matsubara, N. Suzuki	Changes in osmoregulatory function during growth of red-clawed crab larvae	The 6th International Exchange Seminar of Zoology	Shizuoka, Japan	2022/09
8	T. Ohira, <u>K. Toyota</u> , N.T.V. Anh, Y. Takatsuka, T. Hara	Transcriptomic characterization of molt-inhibiting hormones from the whiteleg shrimp <i>Litopenaeus vannamei</i>	第13回エネルギー理工学研究所国際シンポジウム -Research Activities on Zero-Emission Energy Network-	online	2022/09
9	<u>M. Toyoda</u>	Community-Based Dialogue for Sustainable Actions: the Case of Sado Island, Japan.	University of Hawaii Public Talk	Hawaii	2022/11

国内学会・会議等での発表（発表年月順）

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
1	大杉大和, <u>豊田賢治</u> , 小林憲一, 鈴木朋和, 岡本一利, 大平剛	サクラエビ血糖上昇ホルモンの精製・構造決定および生物活性	第22回マリンバイオテクノロジー学会大会	オンライン	2022/05

発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
2 本多希久子, 森永朱香, 後藤智哉, <u>豊田賢治</u> , 征矢野清, 長江真樹, 蓮平裕次, 中田典秀, 井原賢, 宮川信一	環境医薬品の魚類標的遺伝子の同定と遺伝子発現解析	環境化学物質 3 学会 合同大会	富山	2022/06
3 <u>國行亜紀</u> , <u>豊田賢治</u> , 荻野由紀子, 小野純佳, 中村文音, 井口泰泉, 宮川信一	環境化学物質のメダカに対する甲状腺系かく乱作用の影響解析	環境化学物質 3 学会 合同大会	富山	2022/06
4 <u>安東宏徳</u>	月周同調産卵魚クサフグにおける生殖神経内分泌系の周期的調節	第 36 回日本下垂体研究会学術集会	東海大学山中湖セミナーハウス	2022/08
5 <u>堀田崇仁</u> , 松倉君予, <u>阿部晴恵</u>	菌学会ユキツバキ葉に内生する <i>Phyllosticta</i> 属菌の積雪環境への適応可能性	日本菌学会 66 回大阪大会	大阪・オンライン	2022/08
6 松倉君予, <u>堀田崇仁</u> , <u>阿部晴恵</u>	ツバキキンカクチャワシタケ (<i>Ciborinia camelliae</i>) の遺伝的多型と宿主範囲 Genetic variations and host	日本菌学会 66 回大阪大会	大阪・オンライン	2022/08
7 <u>飯田碧</u> , 夏川高輔, <u>島田健太郎</u> , 木戸杏香, 浅田稜二	佐渡島における両側回遊性ハゼ科魚類の生息地利用	2022 年度日本魚類学会年会	大阪	2022/09
8 小林大純, 前田健, 白井厚太郎, <u>飯田碧</u> , 山平寿智	ノコギリハゼ科ジャノメハゼ属魚類の分類学的再検討および洞窟性種の系統・回遊様式	2022 年度日本魚類学会年会	大阪	2022/09
9 <u>島田健太郎</u> , 夏川高輔, 浅田稜二, 満尾世志人, <u>豊田賢治</u> , <u>飯田碧</u>	佐渡島の河川におけるウキゴリ属魚類の食性と底生生物群集	2022 年度日本魚類学会年会	大阪	2022/09
10 大平 剛, 近藤哲也, 深瀬真澄, 花塚真史, <u>豊田賢治</u> , 山根史裕, 亀井宏泰, 鈴木信雄, 片山秀和	クルマエビの成熟を制御する体色調節ホルモン	令和 4 年度公益社団法人日本水産学会秋季大会	宮崎	2022/09
11 澤田 聖人, <u>渡部 侑果</u> , 小林 幸平, <u>阿部 晴恵</u> , 上條 隆志	佐渡島におけるヘビ類の分布様式	ELR2022 つくば	つくば国際会議場	2022/9

発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
12 <u>豊田光世</u>	新潟県佐渡市の自然再生・環境保全における合意形成のプロセスデザインとガバナンスの展開	ELR2022 つくば	つくば国際会議場	2022/09
13 五嶋龍稀, 妹尾依里子, <u>豊田賢治</u> , 宮川信一	マウスの膣におけるエストロゲン受容体を介した上皮-間質相互作用の解析	日本動物学会 第93回 早稲田大会	東京	2022/09
14 石川百花, 菅谷柚香, 宮奥香理, 山岸弦記, 赤司寛志, <u>豊田賢治</u> , 宮川信一	温度依存型性決定をおこなうカメ類生殖腺の遺伝子発現解析およびスプライスバリエントの研究	日本動物学会 第93回 早稲田大会	東京	2022/09
15 川村龍矢, 馬久地みゆき, <u>豊田賢治</u> , 小木曾正造, 渡部雪菜, 永見新, 丸山雄介, 服部淳彦, 柳井清治, 平山順, 松原創, 鈴木信雄	能登半島九十九湾に生息するアカテガニ (<i>Chirromantes haematocheir</i>) の幼生の生理・生態学的研究	日本動物学会 第93回 早稲田大会	東京	2022/09
16 溝口ひかり, 石川真湖, 長谷川真子, <u>豊田賢治</u> , 宮川信一	ホルモン環境に依存したマウス外生殖器の性分化メカニズムの解析	日本動物学会 第93回 早稲田大会	東京	2022/09
17 <u>豊田賢治</u>	アカテガニの月周期性繁殖リズム	日本動物学会 第93回 早稲田大会	東京	2022/09
18 <u>梅田樹</u> , <u>大森紹仁</u>	佐渡島の砂泥海岸におけるサドナデシコナマコの微小棲息環境	日本動物学会 第93回 早稲田大会	東京	2022/09
19 山元響, 赤司寛志, <u>豊田賢治</u> , 齋藤茂, 富永真琴, 宮川信一	クサガメにおける性決定と温度感受性 TRP チャネルの関連	日本動物学会 第93回 早稲田大会	東京	2022/09

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
20	片田祐真, J. Chen, 沖村光祐, 山口大輝, Y.-J. Guh, 中山友哉, 丸山迪代, 古川祐子, 中根右介, 山本直之, 佐藤良勝, <u>安東宏徳</u> , 杉村麻子, 田畑和文, 佐藤綾人, 吉村崇	クサフグの半月周リズムに関する研究	第46回日本比較内分泌学会大会	東京	2022/10
21	Md. M. Zahangir, 大野佑紀, <u>豊田賢治</u> , <u>安東宏徳</u>	クサフグ松果体における半日周発現遺伝子の探索	第46回日本比較内分泌学会大会	東京	2022/10
22	陳君鳳, 片田祐真, 沖村光祐, 山口大輝, 顧穎傑, 中山友哉, 丸山迪代, 古川祐子, 中根右介, 山本直之, 佐藤良勝, <u>安東宏徳</u> , 杉村麻子, 田畑和文, 佐藤綾人, 吉村崇	クサフグが大潮に一斉集団産卵する仕組み	2022年度生理学研究所研究会「極限環境適応」	岡崎	2022/11
23	<u>小林幸平</u> , 丸山紗知, <u>阿部晴恵</u>	都市公園に生息するシマヘビの大型化—非都市部との比較	爬虫両棲類学会	琉球大学	2022/11
24	<u>永田尚志</u> , 加藤賢治, 岡久雄二	トキの再導入個体群におけるコロニー崩壊による繁殖成績低下のメカニズム	日本鳥学会 2022年度大会	東京農業大学オホーツクキャンパス	2022/11
25	田口裕哉, 高橋大樹, 伊東拓朗, 田金秀一郎, 菅原峻太, 小栗恵美子, <u>阿部晴恵</u> , 陶山佳久	オキナワハイネズ(<i>Juniperus taxifolia</i> var. <i>lutchuensis</i>)を中心とした国内ビャクシン属種群の分子系統地理学的解析	第54回種生物学会シンポジウム種生物学会	つくば	2022/11

発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
26 <u>安東宏徳</u>	フグの繁殖を調節するしくみについて	形の科学研究センターシンポジウム「ハイブリッドと形の科学」	新潟	2022/12
27 <u>本間航介</u>	生態学・生物側から見た佐渡農業の課題-有機農業の弱点を補完するビオトープづくり-	日本有機農業学会第23回大会	新潟市	2022/12
28 <u>松倉君予</u> , <u>堀田崇仁</u> , <u>阿部晴恵</u>	菌核病菌ツバキキンカクチャワシタケの分布と宿主選好性, ツバキ属樹種自生地における生息密度	樹木医学会第27回大会	神奈川	2022/12
29 <u>長部有沙</u> , <u>大森紹仁</u>	ウミシダにおける間充織細胞マーカー候補遺伝子の発現解析	第18回棘皮動物研究集会	東京	2022/12
30 山口大輝, 片田祐真, J. Chen, 沖村光祐, Y.-J. Guh, 中山友哉, 丸山迪代, 古川祐子, 中根右介, 山本直之, <u>安東宏徳</u> , 杉村麻子, 田畑和文, 佐藤良勝, 佐藤綾人, 吉村崇	Prostaglandin E2 synchronizes lunar-regulated beach-spawning in grass puffers	第29回日本時間生物学学会学術集会	宇都宮	2022/12
31 <u>石原奏</u> , <u>本間航介</u>	クリの萌芽と潜伏芽の関係性	第134回日本森林学会	オンライン	2023/03
32 齋藤智之, 御田成顕, <u>梶本卓也</u> , 橘和明, 浅井守雄, 紙谷智彦	魚沼市大白川地区のブナ間伐施業による伐採木のカスケード利用	第134回日本森林学会大会	オンライン	2023/03
33 <u>棚田みのり</u> , 後藤晋, 戸丸信弘, <u>本間航介</u> , 小林元, 津村義彦	ダケカンバ相互移植実験における産地・環境・樹形の関係性の解析	第134回日本森林学会	オンライン	2023/03
34 <u>阿部晴恵</u> , 松尾歩, 陶山佳久	日本列島におけるホタルブクロの系統地理	第70回日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
35 <u>P. Chowdhury</u> , <u>M. Iida</u>	Seasonal abundance and distribution of zooplankton in northwestern coast of Sado Island, Sea of Japan (「いいね！」賞受賞)	第70回日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
36	藤田健, 田口裕哉, 澤田聖人, 陶山佳久, 阿部晴恵	佐渡島の山地と平野間におけるモリアオガエルの形態変化と遺伝子流動	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
37	原彩峰, 古郡憲洋, 本間航介	水田ビオトープ内に設置された土側溝が水質と水生昆虫に与える影響	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
38	平岩将良, 阿部晴恵, 丑丸敦史	島嶼の送粉者相と花形質の進化, 日本から発信する島嶼生物学4-island syndrome (植物編)	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
39	堀田崇仁, 松倉君予, 阿部晴恵	ツバキ亜属に寄生するツバキキンカクチャワシタケの環境適応	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
40	古郡憲洋, 本間航介	水田ビオトープにおける水際の形状の違いが水生昆虫群集に与える影響	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
41	小林幸平, 渡部侑果, 澤田聖人, 阿部晴恵	都市部, 非都市部及び島嶼部におけるシマヘビの形態変異とその要因	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
42	松谷朱莉, 飯田碧	佐渡島と新潟市の沿岸における環境と季節によるプランクトン動態の変化	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
43	熱方悠人, 岡崎純子, 長谷川匡弘, 阿部晴恵	島嶼性ツリガネニンジンの昼夜におけるポリネーターシフトについて	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
44	岡崎純子, 仙田耕大, 酒井優奈, 川村三志夫, 名波哲, 長谷川匡弘, 阿部晴恵	訪花昆虫相シフトはツリガネニンジンの形態と蜜分泌特性の分化を引き起こしているのか	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
45	崎尾均	サツキは溪流植物か?	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
46	指村奈穂子, 鈴木正樹, 古本良, 阿部晴恵	ヤマトグサの個体群維持に対する夏季の上昇霧の影響	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
47	島田健太郎, 夏川高輔, 浅田稜二, 満尾世志人, 豊田賢治, 飯田碧	島嶼の河川におけるハゼ科ウキゴリ属魚類の食性	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03
48	田口裕哉, 高橋大樹, 伊東拓朗, 田金秀一郎, 菅原峻太, 小栗恵美子, 阿部晴恵, 陶山佳久	日本の島嶼域に隔離分布するオキナワハイネズ近縁種群の分子系統地理学的解析	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
49	渡部侑果, 澤田聖人, 小林幸平, 長谷川雅美, 飯田碧, 阿部晴恵	佐渡島の魚食シマヘビが担う物質循環機能	第70回 日本生態学会大会	仙台・オンライン	2023/03

【研究集会等の開催】

- ・ 行動を操る脳ホルモンー比較神経内分泌学研究は面白すぎる!!! ー, 日本動物学会第93回早稲田大会, 東京, 2022/09 (安東宏徳ほか) (海)
- ・ 日本から発信する島嶼生物学 4-island syndrome (植物編) 日本生態学会第70回大会オンライン, 2023/03 (阿部晴恵ほか) (森)

【受賞】

- ・ 豊田賢治. 2022年度日本比較内分泌学会奨励賞受賞, 甲殻類における幼若ホルモンと眼柄ホルモンの生理機能解明に関する研究

3-2 研究費

課題名	実施期間	資金制度名	氏名 (代表・分担)
科学研究費補助金		区分	
X線CTを用いた樹木萌芽生成プロセスの解明と薪炭林施業への応用	2022-2026年度	基盤研究 (C)	本間航介 (代表)
島嶼域の氷期遺存植生をモデルとした温暖化による森林植生の維持・成立機構	2022-2025年度	基盤研究 (C)	崎尾 均 (分担)
火災後の永久凍土面の沈下と再上昇で北方林の炭素蓄積量はどのように変化するか	2022-2024年度	基盤研究 (B)	梶本卓也 (分担)
ズワイガニの最終脱皮メカニズムの解明	2022-2024年度	基盤研究 (C)	豊田賢治 (分担)
島嶼環境に直面した広域分布種の送粉生態型分化と侵入定着過程の解明	2021-2025年度	基盤研究 (C)	阿部晴恵 (分担)
絶滅危惧種の「利用と保全」の順応的ガバナンス構築に向けた学際的研究	2021-2024年度	基盤研究 (B)	豊田光世 (分担)
大規模産地試験林を用いた樹木の局所環境適応遺伝子の解明	2021-2023年度	基盤研究 (A)	本間航介 (分担)
回遊パタンの進化の過程を探る: 初期生活史と内分泌系からのアプローチ	2021-2023年度	基盤研究 (C)	飯田 碧 (分担)
陸棲カニ類の半月周性産卵リズムを制御する分子基盤の解明	2021-2023年度	若手研究	豊田賢治 (代表)
極端気象がもたらす風水害の頻発化・激甚化で変わる地域社会の持続可能性評価	2021-2023年度	挑戦的研究 (萌芽)	豊田光世 (分担)
半月周産卵リズムの形成機構: 潮汐を伝える体内時計と分子基盤の解明	2020-2023年度	基盤研究 (B)	安東宏徳 (代表) 大森紹仁 (分担) 豊田賢治 (分担)

課題名	実施期間	資金制度名	氏名（代表・分担）
日本とアジア大陸間の相互移入に基づく植物多様性ホットスポットの形成プロセス	2019–2023年度	基盤研究（C）	阿部晴恵（代表）
河川水汚染医薬品の生物影響解明に向けた薬理学・生物学・環境学的アプローチの統合	2020–2022年度	基盤研究（A）	豊田賢治（分担）
七尾湾におけるトラフグの嗅覚による産卵場の選択に関する研究	2020–2022年度	基盤研究（C）	安東宏徳（分担）
その他公的競争的資金			
持続可能な農業と生物多様性保全に向けた佐渡島の取り組みについて学ぶ	2022年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン） S2022F0200011	阿部晴恵（代表）
佐渡島でのフィールドワークを通して海洋生態系および生物多様性を学ぶ	2022年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）	豊田賢治（代表）
ツマジロクサヨトウの効率的な発生予察技術と防除対策技術の開発	2020–2022年度	生物系特定産業技術研究支援センター：イノベーション創出強化研究推進事業	綿引大祐（分担）
受託研究			
天王川自然再生事業におけるモニタリング調査	2022年度	新潟県佐渡地域振興局受託事業	本間航介（分担）
民間財団等の競争的資金			
佐渡島周辺海域の環境とプランクトン動態の解明	2022–2023年度	公益財団法人内田エネルギー科学振興財団試験研究費助成	飯田 碧（代表）
ツバキ属の花に特異的に感染するツバキキンカクチャワಂತケの生態学的研究	2022年度	(財)佐々木環境技術振興財団試験研究費助成	阿部晴恵（代表）
佐渡島におけるヤマトグサ保全のための種子繁殖と遺伝構造の解明	2022年度	大阪公立大学附属植物園 過去に学び未来を拓く植物多様性保全研究・教育拠点（地域貢献型共同研究）	阿部晴恵（代表）
里山の物質循環機能の定量化に向けた客土後の水田畦畔におけるトビムシ群集の移入経路の特定	2022年度	公益財団法人内田エネルギー科学振興財団試験研究費助成	古郡憲洋（代表）
祖先型棘皮動物ウミシダにおける間充式細胞の発生と分化	2022年度	一般財団法人中辻創知社研究費助成	大森紹仁（代表）
離島の河川における稀少な魚類の生態：微小生息環境から保全策を探る	2021–2022年度	クリタ水・環境科学振興財団国内研究費助成（継続助成）	飯田 碧（代表）

課題名	実施期間	資金制度名	氏名（代表・分担）
寄付金その他外部資金			
環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト	2004-2023 年度 (継続)	一般財団法人 自然環境研究センター	本間航介 (サイト代表)
共同研究「佐渡市リビングラボプロセス検討」「佐渡島リビングラボ構想ワークショップ」	2022 年度	株式会社NTTデータ	豊田光世
環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト	2008-2022 年度 (継続)	一般財団法人 自然環境研究センター	崎尾 均 (サイト代表)

4 教育活動

4-1 学内の教育

対象	講義名	開講時期	担当領域 (副担当)
学部			
全学部			
全学年	地域災害環境システム学入門	第 2 ターム	里
	朱鷺・自然再生フィールドワーク	8/22-23	里
	環境学実習（副専攻）	8/22-24	森・里
	森・里・海フィールド実習	9/5-10	森・里・海
	朱鷺をシンボルとした自然再生	第 3 ターム	森・里
	地域災害環境システム学演習	第 3 ターム	里
	人文系展開科目 D	第 3・4 ターム	里
	環境生物学野外実習 C	3/6-10	海
2 年生	生態系を知る	第 2 ターム	里・森
理・農学部フィールド科学人材育成プログラム 3 年生			
	環境政策論	第 1 ターム	森
	フィールド安全論	第 1 ターム	森・海
	野生植物生態学	第 1 ターム	森
	野生動植物生態学実習	8/11-13	森
	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習 (1)	9/5-8	森
	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習 (2)	9/12-15	森
	海洋フィールド生物学実習	9/12-17	海・(森)
	野生動植物・リスクマネジメント・育林実習(コロナ対応のための補講)	10/21-23	森
	水圏生態学	第 4 ターム	海
理学部			
理学科 1 年生	理学基礎演習 (フィールド科学人材育成プログラム)	第 2 ターム	海
理学科 2 年生	海洋生物学実験	8/29-31	海
	環境生物学野外実習 B	9/21-25	海
理学科 2 年生・ 農学科 2 年生	系統動物学	7/11-14	海
理学科 3 年生	臨海実習 I	8/23-28	海・(森)

対象	講義名	開講時期	担当領域 (副担当)
理学科生物学 プログラム3年生 農学部	動物生理学 III	第4ターム	海
農学科1年生	新潟の農林業	第3ターム	森
農学科2年生	基礎農林学実習	第1学期	森
農学科3年生	動物遺伝学	第2ターム	里
	育林系演習及び実習(1)	8/29-31	森
	育林系演習及び実習(2)	9/1-3	森
	動物遺伝増殖学	第3ターム	里
2,3年生	生態系管理演習及び実習	10/14-16	森
	森林再生学	第3ターム	森
大学院			
自然科学研究科			
修士課程	森林生態学特論	通年	森
	野生植物生態学特論	通年	森
	先端臨海実習	第1学期	海
	環境ガバナンス概論	第1学期	森・里
	自然科学総論V	第1ターム	里
	流域環境思想論	9/8-9, 9/14-16	里
	神経内分泌学	第2学期	海
博士課程	森林生態系管理学II	通年	森
	水圏生物環境学特論	第2学期	海
	環境保全の合意形成論	9/8-9, 9/14-16	里

4-2 佐渡3施設で実施した他大学等の教育

対象	講義名	開講時期	担当領域	
神奈川大学	学外体験学習I(生物)A 佐渡実習	4/8	森	
日本自然環境専門学校	植物研究室(佐渡実習)	5/12-14, 8/18-20	森	
新潟大学大学院ほか	島嶼生態学特論	5/23-25	森	
日本大学	造林学実習	7/5-8	森	
新潟農業・バイオ専門学校	樹木学	7/26-29	森	
バンラデシュ農業大学・チャット プログラム獣医動物科学大学・ハノ イ国立教育大学・香港大学 他	SAKURA Online Practical Course “An Invitation to Marine Biology”	7/27-28	海	
東京都立大学	生態学野外実習	8/1-6	森	
東京医科歯科大学	S・ウニの発生と海産生物の観察実習	8/8-9	海	
浦和大学	自然科学・理科教育ゼミ 臨海実習	8/10-12	海	
東京慈恵会医科大学	教養ゼミ 海産生物の臨海実習	8/21-23	海	
日本大学	地理学専門科目(野外調査法)に係る調査実習	8/22-25	森	
近畿大学農学部	水産生物学実習	8/24-27	海	
大阪産業大学	生態学特別演習2	9/1-3	海	
公開臨海実習	海洋生物多様性実習	9/3-8	海・(森)	
全国8国私立大学	公開臨海実習	森里海をつなぐ野外生態学実習	9/5-10	森・里・海
全国9国公私立大学	新潟大学ほか	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント入門実習	9/12-15	森

対象	講義名	開講時期	担当領域
石川県立大学	動物育種学	9/20-22	里
長野大学環境ツーリズム学部	専門ゼミナール 佐渡臨海実習	9/26-29	里・海
大阪教育大学	野外植物実習	9/27-30	森
日本自然環境専門学校	植物生態野外実習 (1)屋久島	10/7-8	森
京都大学	学外体験学習 (森林)	11/21-22	森
日本自然環境専門学校	森林実習	11/26-27	森
日本自然環境専門学校	植物生態野外実習 (2)佐渡島	11/26-27	森
中国科学院シーサンパンナ熱帯植物園・昆明植物研究所	さくら招へいプログラム：持続可能な農業と生物多様性保全に向けた佐渡島の取り組みについて学ぶ	2/26-3/5	森・海
公開臨海実習 全国 11 国私立大学	動物発生学臨海実習	3/6-10	海

4-3 3 施設で実施したその他の教育

対象	講義名	開講時期	担当領域／ 実施者
佐渡市民	Tara Ocean Japan, Tara-JAMBIO 海洋プラスチックイベント	7/3	海
佐渡市松ヶ崎中学校	森の講座	7/9	森
佐渡市小中学生	佐渡市 こども環境学習会	7/25	海
新潟南高等学校	スーパーサイエンスハイスクール佐渡実習	7/31-8/1	森
県内外高校等	新潟大学公開講座 高校生・一般対象公開臨海実習	8/4	海
NPO 法人 JUON Network	「トキの島・森の楽校」夏	8/22-26	森
早稲田大学高等学院中学部	臨海実習	8/31	海
森林計画学会員	夏季セミナー	9/21-23	森
佐渡市民	公開林間実習 2022	10/1	森
佐渡中等教育学校	環境講座	10/7	森
NPO 法人 JUON Network	「トキの島・森の楽校」秋	10/8-10	森

4-4 施設利用状況

演習林	他大学		学内		一般・小中高生 実習・研修等 エコツアー除く	計
	実習	実習以外	実習	実習以外 所属学生含む		
利用人数 (延べ)	463	175	679	890	67	2,274

朱鷺・自然再生学研究 施設 (キセン城)	実習活動 (延べ人数)	研究活動 (延べ日数)	その他 (延べ日数)
	12 名	49 日	166 日

臨海実験所	他大学			学内		一般 小中学校	計
	フィールド 利用型 実習	公開臨 海実習	実習以外	実習	実習以外 所属学生含む	実習・研修 等	
利用人数(延べ)	294	161	113	404	2,083	327	3,382

5 地域連携と社会活動

5-1 佐渡市との連携による事業

1) 佐渡島リビングラボの構築 (佐渡市・NTT データ株式会社・新潟大学共同事業)

6-8月にラボ構想の連続ワークショップ(5回)を開催し、産官学民が協働で地域課題の整理と課題解決の提案作りに取り組み、ラボの構想を進めた。11月19日にラボを開設し、自然共生社会の実現に向けた事業の展開を開始した。竹林、海藻などの自然資源の活用を検討するプロジェクトや、地域循環共生圏の政策づくりに関するワークショップなどに取り組んだ。

2) 里山未来ユースワークショップの企画運営 (CD)

佐渡島内の高校生を対象に佐渡の農村の課題解決ワークショップ並びに、地域イノベーターにインタビューを行うフィールドワークを企画・実施した。

3) 佐渡ローカルイノベーションプログラムの企画運営 (佐渡市・NTT 東日本・NTT DX パートナー・新潟大学共同事業)

新潟大学の学生向けに佐渡の地域課題解決をテーマとしたデザイン思考的アプローチの教育プログラムの開発と試行に取り組んだ。

5-2 その他の地域連携・社会活動

内容	実施日	会場	担当領域/ 実施者
小中高校の教育支援			
佐渡市新穂中学校	佐渡の魚を知る 大 学教員という仕事を 知る	4/27	臨海実験所 海
佐渡市金泉小学校	イカいか大作戦 ～め ざせ! イカ博士～	4/28	臨海実験所 海
佐渡市金泉小学校	出前授業 ミジンコの 仲間を観察しよう	4/28	金泉小学校 豊田賢治
佐渡市立新穂中学校	SDGs 探究活動事前学 習	6/17	新穂中学校 北愛子
佐渡市立河崎小学校	久知川の環境調査学 習	6/20	佐渡市内 綿引大祐
佐渡市立小木小学校	小木小昆虫教室	7/21	小木小学校 綿引大祐
長岡大手高校	生きもの見学・施設見 学	8/10	臨海実験所 海
佐渡市立新穂中学校	佐渡・新穂の課題解決 へ向けて	9/27	新穂中学校 豊田光世
佐渡市立金井小学校	サドガエル引越し大 作戦	10/13, 10/18	金井小学校 綿引大祐 豊田光世

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
佐渡市立金井中学校	サドガエル引越し大作戦	10/13, 10/18	金井中学校	豊田光世
福井県立若狭高等学校	p4c の考え方と手法	11/16	若狭高等学校	豊田光世
新潟県立佐渡総合高等学校	海藻の新しい可能性を探究するワークショップ	3/3	佐渡総合高校	CD
学校教員向け研修				
佐渡市立赤泊小学校	p4c 研修	4/8	赤泊小学校	豊田光世
佐渡市学校教員	2022 年度探究の対話 (p4c) ワークショップ	5/6, 5/19, 5/26, 6/16, 7/21, 10/20, 11/17, 2/10	トキ交流会館 ／オンライン	豊田光世
佐渡市立二宮小学校	p4c 研修	6/14	二宮小学校	豊田光世
長岡私立中之島中央小学校	p4c 研修	6/15	中之島中央小学校	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	サドガエル等佐渡固有生物生態研修会	6/22	佐渡市市役所	綿引大祐
佐渡市立理科教育センター	磯の生物の生態研修会	7/26	臨海実験所	海
佐渡市立赤泊小学校	p4c 研修	8/1	赤泊小学校	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	加茂湖再生等環境教育研修会	8/19	加茂湖	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	トキの生態研修会	11/18	トキのテラス	永田尚志
佐渡市立相川小学校	p4c 研修	1/26	相川小学校	豊田光世
市民向けセミナー・フォーラム等				
佐渡市民	小木のこと知ら Night! 春! 宿根木おとなの夜間学級 (小木南部の昆虫)	5/14	佐渡国小木民俗資料館	綿引大祐
トキの里探検隊	里山体験ガイド実習	5/15 7/3 9/3 3/18	佐渡市内	綿引大祐
新潟大学東京事務所講演会	市民参加の環境保全に向けた合意形成の実装研究	5/20	オンライン	豊田光世
敬和学園大学チャペル・アッセンブリー・アワー	植物から地球環境を考えるー森林を例にしてー	6/3	敬和学園大学	崎尾均
佐渡観光交流機構	佐渡エコツアーリズムガイド養成講座 (1) 総論	6/12 7/9 7/26 10/1 10/2 10/5	トキ交流会館	本間航介
第 1 回サイエンスカフェ	天地人が語る佐渡島の自然	6/13	おに Cafe	崎尾均

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
佐渡島探究の学び研究会フ ォーラム	佐渡島の探究的学び の可能性を探る	6/25	佐渡島開発総 合センター	豊田光世
世界仮想旅行社	山と森を学ぶー自然 首都・只見の自然につ いてー	7/1	オンライン	崎尾均
越後三山只見国定公園編入 記念シンポジウム	国定公園の保全と地 域振興に向けて	7/13	金山町御神楽 館	崎尾均
第2回サイエンスカフェ	二刀流で生きる天然 スギ！ー屋久島のス ギ VS 佐渡島のスギ ー	7/19	おに Cafe	崎尾均
佐渡市民	ジュニア学芸員養成 講座	7/30 9/10	佐渡市内	綿引大祐
早稲田大学環境総合研究セ ンター国際教育プログラム	Cultivating actor- communities for satoyama-satoumi conservation	8/3	オンライン	豊田光世
加茂湖環境セミナー	スナモグリの生態を 学ぶ	8/3	佐渡潜水	豊田賢治
長岡技術大学座談会	Co-design の時代のリ ーダーシップ教育	8/4	長岡技術大学	豊田光世
佐渡市民	生きもの見学・施設見 学	5/4, 7/26, 8/12	臨海実験所	海
智頭の山人塾 森林と樹木 のサイエンスシリーズ	水辺林の生態と役割	8/18	オンライン	崎尾均
佐渡市民	生き物同定会	8/21	佐渡中央会館	綿引大祐
世界仮想旅行社	マタタビの不思議	8/26	オンライン	崎尾均
新潟大学ビッグデータアク ティベーション研究センタ ー, 第2回データ活用・DX 推進の産学連携セミナー	佐渡島リビングラボ 事例紹介	8/30	オンライン	豊田光世
令和4年度放送大学公開講 座	海の時間	9/4	上越市立直江 津図書館	安東宏徳
令和4年度第2回世界発見・ 佐渡再発見講座 (DSI)	佐渡島の森を語る	9/17	佐渡中央会館	崎尾均
佐渡市理科教育センター	子どものための科学 祭り	9/19	アミューズメ ント佐渡	海
佐渡の森林と森林研究 講師: 梶本卓也・小柳正彦 (新潟県佐渡地域振興局)・ 村上拓彦 (新潟大学)	森林領域佐渡ゼミ	9/21	トキ交流会館 (オンライン 併用)	森
バイオマス利用のための森 林管理 講師: 當山啓介 (東京大学)・ 高橋正義 (森林総研)	森林領域佐渡ゼミ	9/21	トキ交流会館 (オンライン 併用)	森
第3回サイエンスカフェ	こんな生き物, 見たこ とないーオーストラ リアの多様な動植物 ー	9/27	おに Cafe	崎尾均

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
世界仮想旅行社	只見線の車窓から楽しめる只見自然ガイド	10/14	オンライン	崎尾均
加茂湖活用市民会議，第4回 佐渡産業創造塾	SDGs は企業の発展につながるうるか	10/19	両津地区公民館	豊田光世
Sado p4c butterflies	佐渡 p4c おけさ 2022	11/5	あいぽーと佐渡	豊田光世
東京農業大学・NPO 法人田舎のヒロインズ合同講座	共生し生かし合う里山の未来デザイン	11/9	オンライン	豊田光世
佐渡観光交流機構	佐渡エコツーリズムガイド養成講座 フォローアップ研修	11/9	糸魚川	本間航介
金沢大学	佐渡市の認証米制度と農業者の意識調査に関する講演	11/10	オンライン	豊田光世
佐渡商工会女性部協議会 秋期研修会	佐渡島の植物の不思議を探る	11/22	ホテルニュー桂	崎尾均
第4回サイエンスカフェ	佐渡島の草原，現在過去未来 ドンデン高原の驚くべき変化	11/23	おに Cafe	崎尾均
探究の対話(p4c)研究会	パネルディスカッション	12/17	宮城教育大学 オンライン	豊田光世
第5回サイエンスカフェ	気候変動待ったなし!	12/21	おに Cafe	崎尾均
倫理研究会モーニングセミナー	佐渡島の自然に魅せられて一生態系の保全が佐渡島を救うー	1/20	国際佐渡観光ホテル八幡館	崎尾均
世界仮想旅行社	豪雪に適応した植物 4一雪の下で生きるー	1/20	オンライン	崎尾均
佐渡ジオパークフォーラム	佐渡発の新種キングギドラシリスの生息環境調査	2/4	アミューズメント佐渡	大森紹仁 ほか
佐渡市民	「さわた図書館がおくるちっちな講演会#17 オケラ物語～むかし僕らは友達だった～」	2/11	佐渡中央会館	綿引大祐
第6回サイエンスカフェ	タケ（竹）って何？	2/17	おに Cafe	崎尾均
第7回サイエンスカフェ	花のシーズン開幕	3/16	おに Cafe	崎尾均
環境 DNA と生態系解析 - 大倉川流域の森林植生を対象として - 講師：鈴木一輝（新潟大学）	森林領域佐渡ゼミ	3/17	オンライン	森
佐渡市民	トキモニターフォローアップ研修	3/18	トキ交流会館	永田尚志
令和4年度 佐渡市市民環境講座				
	佐渡島の森林と植物ー時空を超えてー	7/8	アミューズメント佐渡	崎尾均
	身近な虫から里山と環境を考える	7/29	あいぽーと佐渡	綿引大祐
	佐渡島の海辺でみかける甲殻類の不思議な生態	8/2	アミューズメント佐渡	豊田賢治

5-3 シンポジウム・セミナー等の開催

名称	開催日	会場
新潟県緑の百年物語森林セミナー2022「トキ野生復帰と里山の未来」	6/10	新潟県自治会館
里山体験ガイドフォローアップ (1)「伝える」とは/インタープリテーション講座 I 講師：河合かよこ (UFM ネイチャースクール)	7/18	トキ交流会館
ジオパーク市民講座 ガイド養成講座 講師：五十嵐實 (日本自然環境専門学校)	9/4	あいぼーと佐渡
第5回佐渡未来講座「ネイチャーポジティブシンポジウム:佐渡島 SDGs・生物多様性保全はグローバルビジネスの時代へ」(佐渡市・公益財団法人地球環境戦略研究機関・新潟大学共催)	10/23	佐渡開発総合センター
里山体験ガイドフォローアップ (2)「伝える」とは/インタープリテーション講座 II/ジオパーク市民講座 ガイド養成講座 講師：河合かよこ (UFM ネイチャースクール)	11/6	佐渡市内
※ ジオパーク市民講座・里山体験ガイドフォローアップ同時開催		
シーサンパンナ熱帯植物園セミナー「The conservation of <i>satoyama</i> in Sado Island」 講師：古郡憲洋	11/8	オンライン
佐渡島自然共生ラボ開設記念シンポジウム (新潟大学・NTT データ株式会社・佐渡市共催)	11/19	あいぼーと佐渡
はじめてのグラレコ 講師：小林愛実, 横尾文子 (NPO 法人まちづくり学校)	2/5, 2/20, 3/8, 3/15, 3/27	トキ交流会館・オンライン
里山体験ガイドフォローアップ (3) 里山お絵かき実習 講師：小川温子 (イラストレーター)	2/18	トキ交流会館
新潟大学佐渡自然共生科学センター学生発表会	3/16	トキ交流会館・オンライン
創るプロジェクト&佐渡マイプロ 2022 年度発表会	3/21	トキ交流会館・オンライン
新潟大学佐渡自然共生科学センターシンポジウム 2023 デジタル時代の自然共生科学	3/25	トキ交流会館・オンライン

6 資料

6-1 報道関係

- 1) 新潟日報, 「島の稀少種知り守ろう 市版レッドリスト初作成」, 2022/04/13 (森・里・海)
- 2) 読売 KODOMO 新聞, 「本当にいる! 不思議な生き物 キングギドラシリス」, 2022/4/28 (大森紹仁) (海)
- 3) 新潟日報「天然杉の巨木群見学」, 2022/5/7 (崎尾 均) (森)
- 4) 佐渡テレビ「神秘的な原生林を体感! エコツアー」, 2022/5/23 (崎尾 均) (森)
- 5) 朝日新聞「只見の秘境 特に生物多様」, 2022/6/10 (崎尾 均) (森)
- 6) 河北新報「浅草岳・沼ノ平 福島・只見町が学術調査」, 2022/6/11 (崎尾 均) (森)
- 7) 新潟日報, 「コーヒー片手に自然や植物学ぶ」, 2022/6/28 (崎尾均) (森)
- 8) 新潟日報, 「島の自然や文化 活用を 探究的学び 事例発表」, 2022/6/29 (CD)
- 9) 佐渡テレビ, 「植物の生き様語るサイエンスカフェ」, 2022/7/1 (崎尾 均) (森)
- 10) 新潟日報, 「久知川 生き物いっぱい 河崎小児童ら調査」, 2022/7/5 (綿引大祐) (CD)
- 11) 新潟日報, 「アドバイザー会議 天王川の再生計画議論」, 2022/7/5
- 12) 読売新聞, 「只見・沼ノ平 豊かな生態系」, 2022/8/1 (崎尾 均) (森)
- 13) 新潟日報, 「農漁業の未来 アイデア議論 新穂で学習会」, 2022/8/25 (CD)
- 14) 新潟日報, 「トキと農業 共存の道は 苗踏み被害 年間十数件」, 2022/9/16 (永田尚志) (里)
- 15) 新潟日報, 「サドガエルお引越し 金井・ほ場整備区域内の個体 保全へ小中学生ら捕獲」, 2022/10/26 (里)
- 16) 新潟日報, 「『自然共生ラボ』開設記念シンポ」, 2022/11/3 (CD)
- 17) 新潟日報, 「子どもの探究心どう育む 対話重ねて理解を促進」, 2022/11/15 (豊田光世) (CD)

- 18) 新潟日報, 「トキ共生型農業学ぶ インドネシアの大学生新穂潟上で生き物調査」, 2022/11/22
- 19) 新潟日報, 「大雪停電 竹林が要因か」, 2022/12/22 (崎尾 均) (森)
- 20) テレビ朝日, 「羽鳥慎一モーニングショー「佐渡市の停電 原因は竹林」, 2022/12/26 (崎尾 均) (森)
- 21) 新潟日報, 「長期停電引き起こしたたけ歴史や特性知り管理を」, 2023/2/25 (崎尾 均) (森)
- 22) 新潟日報, 「海藻っておいしい 佐渡総合高, 料理に挑戦」, 2023/3/9 (CD)
- 23) 新潟日報, 「斬新な発想 島刺激 新大生ら向け講座修了」, 2023/2/11 (CD)
- 24) 昭和 (公財) 昭和聖徳記念財団新聞「日本列島の縮図, 佐渡島の生物史を読み解く植物まるごと系統解析」, 2023/3/10 (阿部晴恵) (森)

6-2 構成員

センター長/副センター長

永田尚志・センター長 理学博士

専門分野：鳥類生態学, 保全生物学

研究テーマ：トキの再導入生物学に関する研究, 希少鳥類の保全, 鳥類の繁殖戦略

所属学会：日本生態学会, 日本動物行動学会 (Journal of Ethology 編集委員会副編集長), 個体群生態学会, 日本鳥学会 (評議員), 鳥類標識協会, American Ornithological Society, Wilson Ornithological Society, Waterbird Society, Association of Field Ornithologists, International Ornithologist Union

外部委員：河川学術研究会委員, 河川水辺の国勢調査鳥類スクリーニング委員会委員 (以上, 国交省関係), トキ野生復帰検討会委員, トキと共生する里地づくり取組地域選定委員会委員, 環境省レッドリスト鳥類分科会委員, モニタリングサイト1000 (森林・草原調査) コア・準コアサイト検討会委員, モニタリングサイト1000 森林・草原調査解析ワーキンググループ委員, モニタリングサイト1000 陸生鳥類検討会委員, 鳥類標識調査検討会委員, ヤンバルクイナ保護増殖事業ワーキンググループ委員 (以上, 環境省関係), 佐渡市環境審議会委員, 佐渡ジオパーク推進協議会委員, 人・トキの共生の島づくり協議会委員, 佐渡市環境アドバイザー (以上, 佐渡市関係), IUCN SIS the International Glossy Ibis Network (IGIN) 委員

安東宏徳・副センター長 理学博士

専門分野：生殖内分泌学, 神経内分泌学

研究テーマ：産卵回遊魚の海洋環境適応の脳内メカニズム

所属学会：日本動物学会, 日本比較内分泌学会 (幹事, 出版委員会), 日本下垂体研究会 (評議員), 日本水産学会, The Asia and Oceania Society for Comparative, Endocrinology (AOSCE) (Councilmember)

外部委員：新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議委員, 佐渡海区漁業調整委員会委員, 佐渡ジオパーク推進協議会調査・研究部会部員, 金沢大学環日本海域環境研究センター教育関係共同利用拠点運営委員会委員, 金沢大学環日本海域環境研究センター共同利用・共同研究拠点運営委員会委員, 佐渡市環境アドバイザー

学術雑誌編集委員：Neuroendocrinology (Associate Editor), Fish Physiology and Biochemistry (Editorial Board), Frontiers in Experimental Endocrinology (Editorial Board)

外部講師：放送大学非常勤講師

森林領域/演習林

梶本卓也・領域長・教授 博士 (農学)

専門分野：森林生態学, 造林学

研究テーマ：樹木の成長機構, 森林の更新過程, 人工林の育成管理技術

所属学会：日本森林学会 (理事), 東北森林学会

外部委員：新潟県森林審議会委員, 佐渡市環境アドバイザー, 岩手県久慈市白樺再生事業アドバイザー, 第134回森林学会大会プログラム編成委員会委員長, 同学会賞等表彰委員

外部講師：京都大学農学部非常勤講師

学術雑誌編集委員：Trees-structure & function (Editorial Board)

本間航介・准教授 博士（理学）

専門分野：森林生態学，里山生態学，保全生態学

研究テーマ：高ストレス・高攪乱環境下における木本植物の更新戦略，里山複合景観が有する生態機能の定量的解明

所属学会：日本生態学会，種生物学会，日本植生史学会

外部委員：環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト検討委員，環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系一般サイト検討委員，環境省・佐渡市 人・トキ共生の島づくり協議会副会長，新潟県トキ野生復帰アドバイザー，佐渡市環境アドバイザー，JaLTER（日本長期生態研究ネットワーク）佐渡サイト代表

阿部晴恵・准教授 博士（理学）

専門分野：島嶼生態学，保全遺伝学，進化学

研究テーマ：島嶼における生物の進化，ツバキ属の種分化，生物間相互作用

所属学会：日本生態学会（自然保護委員会），日本島嶼学会，日本ツバキ協会，国際ツバキ協会

外部委員：環境省モニタリングサイト 1000 里地調査中・大型哺乳類写真同定ワーキンググループ，尾瀬保護財団理事，新潟県環境影響評価審査会委員，JSPS 国際事業委員会書面審査委員，JSPS 特別研究員等審査会委員

外部講師：佐渡市環境アドバイザー，大阪教育大学非常勤講師

古郡憲洋・特任助教 博士（農学）

専門分野：群集生態学，里山生態学，保全生態学

研究テーマ：里山景観の推移帯が持つ生態学的機能の定量的解明

所属学会：日本生態学会，日本森林学会，農業農村工学会

外部講師：佐渡市環境アドバイザー

崎尾 均・名誉教授（フェロー） 博士（理学）

専門分野：森林生態学，水辺林の生態と保全，樹木の生活史

研究テーマ：水辺の樹木の生活史戦略

所属学会：日本生態学会，日本森林学会，日本植物学会，植生学会，屋久島学ソサイエティ，IAVS

外部委員：植生学会企画委員，日本 MAB 計画委員会委員，只見町ユネスコエコパーク支援委員会委員長，只見町ブナセンター紀要編集委員，只見町沼ノ平総合学術調査団調査団長，佐渡ジオパーク推進協議会調査研究部会委員，佐渡文化振興ビジョン・アクションプラン検討委員会，佐渡市博物館協議会委員，佐渡市博物館ビジョン検討部会委員，佐渡市環境アドバイザー

外部講師：日本自然環境専門学校非常勤講師

堀田崇仁・自然科学研究科修士課程 2 年

研究テーマ：ツバキ亜属樹種の葉と花に生息する菌類

渡部侑果・自然科学研究科修士課程 2 年

研究テーマ：佐渡島の魚食シマヘビが担う物質循環機

多田民生・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：佐渡島における網羅的な花形質比較によるアイランドシンδροームの検証

木嶋健志・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：佐渡島と本州間におけるニホンイタチの形態と食性の比較

藤田 健・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：佐渡島におけるモリアオガエルのニッチ拡大による形態変化とその要因

原 彩峰・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：水田ビオトープ内における物理・化学環境の時空間的違い

中村美貴・自然科学研究科修士課程 1年
研究テーマ：放棄棚田の植生遷移パターン

熱方悠人・農学部 4年
研究テーマ：島嶼におけるツリガネニンジンのポリネーターシフトの究極要因

小林幸平・農学部 4年
研究テーマ：都市におけるシマヘビの大型化

河崎健太郎・農学部 4年
研究テーマ：大倉川における水生昆虫の流呈分布と物理的環境の関係性

高橋遼平・農学部 4年
研究テーマ：長期動態計測による多雪地スギ天然林の維持機構の解明

杉山莞玖斗・農学部 4年
研究テーマ：スギ天然林に形成された植生パッチが土壌動物群集に及ぼす影響

石原奏・農学部 4年
研究テーマ：クリにおける萌芽と潜伏芽の関係性

棚田みのり・農学部 4年
研究テーマ：相互移植実験におけるダケカンバの樹形と産地・環境の関係性

里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設

永田尚志・教授・領域長 理学博士

豊田光世・准教授 博士（学術）

専門分野：環境哲学，合意形成学，環境教育，対話教育

研究テーマ：環境共生社会の実現に向けた市民参画プロセスのデザイン

所属学会：日本環境教育学会，日本感性工学会，「野生生物と社会」学会，日本デザイン学会，The International Council of Philosophical Inquiry with Children

外部委員：日本学術会議連携会員（環境学委員会環境思想・環境教育分科会委員，環境教育の思想的アプローチ小委員会委員長，哲学委員会いのちと心を考える分科会委員），科学研究費委員会専門委員，新潟県環境審議会委員，佐渡市世界農業遺産推進会議委員，佐渡市生物多様性佐渡戦略推進委員会社会系ワーキングチーム委員，佐渡市さど未来創造・戦略推進会議委員，佐渡教育コンソーシアム検討委員，佐渡市デジタル化推進検討懇談会委員，佐渡市環境アドバイザー，人・トキ共生の島づくり協議会委員，佐渡市立行谷小学校学校関係者評価委員，福井県立若狭高等学校マイスターハイスクール推進委員，県立広島大学重点研究事業審査部会委員

外部講師：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院非常勤講師，東京工業大学社会人アカデミー講師，兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科非常勤講師，東京海洋大学客員准教授

綿引大祐・特任助教 博士（農学）（3月31日転出）

専門分野：昆虫分類学，植物保護科学

研究テーマ：蛾類の分類学的研究とその成果を応用した害虫化メカニズムの解明

所属学会：日本昆虫学会，日本応用動物昆虫学会，日本鱗翅学会，日本蛾類学会

祝前博明・フェロー，本学教育支援員 Ph.D.

専門分野：量的遺伝学，生物統計学，家畜育種学

研究テーマ：和牛の育種改良，トキ個体群の遺伝的多様性，ゲノム評価法

所属学会：日本動物遺伝育種学会，日本畜産学会

外部委員：（公社）畜産技術協会事業推進委員会委員，（公社）全国和牛登録協会中央審査委員，など

外部講師：石川県立大学非常勤講師

長嶋直幸・特任助手（3月31日転出）

倉橋玄宜・技術補佐員

曾我京佑・自然科学研究科修士課程1年

研究テーマ：地域課題解決に向けた共創の場の構築プロセスをめぐる研究～佐渡島リビングラボを事例に

川崎敬心・自然科学研究科修士課程1年

研究テーマ：河川スケールにおける護岸が魚類に及ぼす累積的影響の研究

藤田陽・自然科学研究科修士課程1年

研究テーマ：佐渡島の沿岸小河川におけるイワナ、ヤマメの種間競争と共存機構の研究

松村拓樹・自然科学研究科修士課程1年

研究テーマ：水生昆虫の保全を目的としたビオトープ管理手法の検討

関口桃野・理学部4年

研究テーマ：日本酒の生きものブランド形成に関する研究

佐藤 風・理学部4年

研究テーマ：新潟県佐渡市における自然災害リスクマネジメントの観点からの地域文化資源の分析

神田 駿・理学部4年

研究テーマ：トキの個体属性が採餌行動に与える影響の研究

古川 舜・農学部4年

研究テーマ：都市化はゴミムシ類の生物多様性を低下させるのか？小規模都市公園における検証

金澤真希・農学部4年

研究テーマ：セグロアシナガバチの創設メス間の血縁認識

海洋領域／臨海実験所

安東宏徳・教授・領域長 理学博士

飯田 碧・准教授 博士（農学）

専門分野：魚類生態学，水圏生物学

研究テーマ：通し回遊性生物についての生態学的研究，海洋におけるプランクトンの動態

所属学会：日本水産学会，日本魚類学会（代議員），日本生態学会，日本動物学会

外部委員：新潟県環境影響評価審査会委員，新潟県洋上風力発電導入研究会環境影響専門部会委員，新潟県環境審議会 環境管理部会副会長，新潟県環境審議会 水環境部会委員，国土交通省北陸地方整備局信濃川水系流域委員会 下流部会委員，国土交通省北陸地方整備局河川水辺の国勢調査アドバイザー，公益財団法人新潟市河川文化財団理事，佐渡市環境アドバイザー，東京大学大気海洋研究所 共同利用外部委員

学術雑誌編集委員：Ecological Research (Editorial Board)

大森紹仁・助教 博士（理学）

専門分野：進化発生学，系統分類学

研究テーマ：棘皮動物の体軸進化と自然史に関する研究

所属学会：日本動物学会，日本発生生物学会

外部委員：佐渡市環境アドバイザー

豊田賢治・特任助教 博士（理学）（9月30日転出）

専門分野：環境生理学，発生内分泌学

研究テーマ：甲殻類の性差構築と幼生変態の分子メカニズム

所属学会：日本動物学会，日本比較内分泌学会（学会誌編集委員，若手交流企画委員会）

下谷豊和・技術専門職員

小杉かおる・技能補佐員

永瀬 淳・技能補佐員

Chowdhury, Parvez・自然科学研究科博士課程1年

研究テーマ：Seasonal abundance and fluctuation of plankton in Sado Island, Sea of Japan

宇内美桜里・自然科学研究科修士課程2年

研究テーマ：オオミジンコにおけるクリプトクロームの機能解明に向けた局所的発現解析と組換えタンパク質の作製

梅田 樹・自然科学研究科修士課程2年

研究テーマ：佐渡島沿岸の砂泥海岸におけるサドナデシコナマコをはじめとする内在性動物の棲息環境に関する研究

島田健太郎・自然科学研究科修士課程2年

研究テーマ：河川におけるハゼ科ウキゴリ属魚類の食性と底生生物群集

長部有沙・自然科学研究科修士課程1年

研究テーマ：ウミシダにおける間充織細胞の発生と分化

豊増 唯・理学部4年

研究テーマ：月周産卵魚クサフグにおけるメラトニン受容体遺伝子発現細胞の脳内分布

松谷朱莉・理学部4年

研究テーマ：佐渡島と新潟市沿岸における環境と季節による動物プランクトン動態の変化

コミュニティデザイン室

豊田光世・准教授・室長 博士（学術）

里山領域と兼任

綿引大祐・特任助教 博士（農学）（3月31日転出）

里山領域と兼任

北 愛子・特任助手

「里山農業の未来デザインプロジェクト」担当

センター事務室

渡辺浩匡・事務室長

高橋美由紀・事務補佐員

日比谷広美・事務補佐員（6月30日転出）

加藤聡子・事務補佐員（7月1日着任）

新潟大学 佐渡自然共生科学センター 2022（令和4）年度年次報告書

発行日：2023年6月30日

編集：佐渡自然共生科学センター 広報委員会（本間航介，飯田 碧，豊田光世），北 愛子

発行：新潟大学 佐渡自然共生科学センター

<https://www.sices.niigata-u.ac.jp>
